

製品名: リボソームタンパク質 S11 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab17172

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS11
別名	RPS11; 40S ribosomal protein S11
遺伝子 ID	6205.0
SwissProt ID	P62280
免疫原	抗血清はヒト RPS11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

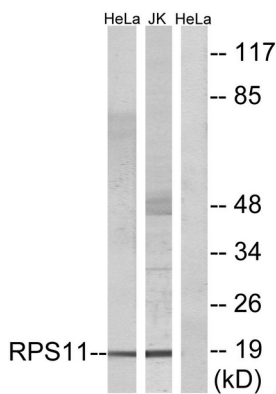
タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小型の 40S サブユニットと大型の 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは、4種類の RNA と約 80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、40S サ

プユニットを構成する S17P リボソームタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。この遺伝子は、第3イントロンに位置する小型核小体 RNA 遺伝子 U35B と共転写されます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的に見られるように、この遺伝子の複数の処理済み擬遺伝子がゲノム全体に散在しています。[RefSeq 提供、2012年7月],類似性: リボソームタンパク質 S17P ファミリーに属します。、

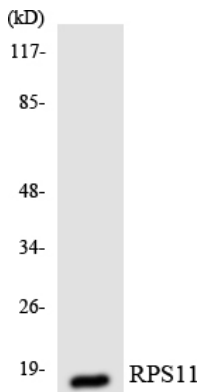
研究分野

リボソーム;

画像データ



RPS11 抗体を用いた HeLa 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RPS11 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。